

乾燥減量試験用乾燥器

日本薬局方 乾燥減量試験法に適合した乾燥器

温度分布 $\pm 2^{\circ}\text{C}$ を保証 **業界初**

試験槽内における温度差を「温度最大最小幅」とし、「 $\pm 2^{\circ}\text{C}$ 」（温度範囲： $+50 \sim +180^{\circ}\text{C}$ ）を保証しています。日本薬局方の乾燥減量試験法に準拠しています。

● 身近に置けるデスクトップサイズ

電源100V/15Aで稼働するコンパクトサイズ。場所を選ばず試験や乾燥が可能です。

● 移動と2段階ができる専用架台

1台分の設置スペースに2台のチャンバーと記録計などが設置でき、手軽に移動が行えるキャスター付きの専用架台をご用意しております。

● 粉体試料の試験や乾燥に対応

飛散しやすい粉体試料や循環風が試験結果に影響をおよぼす場合、その影響を最小限に抑える風速可変装置を装備しています。
(温度最大最小幅 $\pm 2.0^{\circ}\text{C}$ は、標準風速時の保証です)

日本薬局方記載の『一般試験法 乾燥減量試験法』では、『加熱して乾燥する場合は、加熱温度を医薬品各条に規定する温度の $\pm 2^{\circ}\text{C}$ の範囲とし』と規定されています。

仕様

乾燥減量試験用乾燥器		
電源電圧/全負荷電流	AC100V 1 ϕ 50/60Hz/13A	
方式	強制熱風循環・換気方式	
性能 ※1	温度範囲	(外囲温度+20) $\sim +200^{\circ}\text{C}$
	温度最大最小幅※2	$\pm 2.0^{\circ}\text{C}$ (温度範囲： $+50 \sim +180^{\circ}\text{C}$)
内容積	39L	
内法	W400×H280×D350 mm	
外法	W480×H435×D640 mm	

※1 外囲温度が $+23^{\circ}\text{C}$ 、無試料の場合における値です。排気ダンパは全閉、標準風速の状態。

※2 試験槽内(JTM K05:2000準拠)における温度の差を「温度最大最小幅」とし、保証します。

エスペック株式会社 <http://www.espec.co.jp/>

530-8550 大阪市北区天神橋 3-5-6

●製品に関するお問い合わせは
ライフ事業プロジェクト Tel:06-6358-4746 Fax:06-6358-4764

■ 価格、詳細仕様等につきましては別途お問い合わせください。
● 製品の改良・改善のため、仕様および外觀、その他を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。